

From JPMA

高品質の医薬品を安定供給する使命

今回の大震災を通じ、私ども研究開発志向型の製薬企業にとっては高品質の医薬品を安定的に供給することがいかに重要な使命かということに改めて認識したところです。

世界で使われている新薬の中で、日本発のものは米国、英国について3番目に多く、アジアでは新薬を出せる唯一の国です。このアドバンテージをさらに確固たるものとすると同時に、ここ数年、業界をあげて力を入れてきている未承認薬・適応外薬問題の解消にも、引き続き努力していきたいと考えています。



日本製薬工業協会
会長 手代木 功

(座談会記事より)

日本製薬工業協会(製薬協)

Japan Pharmaceutical Manufacturers Association (JPMA)

製薬協は、病院、診療所などの医療機関で使われる医療用医薬品の研究・開発を通じて世界の人々の健康と福祉の向上に貢献することをめざす、研究開発志向型の製薬会社が加盟する団体で、1968年に設立されました。

製薬協は、「患者中心の医療の実現」に向けて、医薬品に対する理解を深めていただくための活動、ならびに製薬産業の健全な発展のための政策提言などをおこなっています。

製薬協は、国際製薬団体連合会(IFPMA)の加盟団体として世界の医療・医薬に関わる諸問題に対応し、各団体と連携を図りながら、グローバルな活動を展開しています。